

# 競技要項

## 1. 競技方法・競技時間

Division I - A・B **新方式によるリーグ戦を行う。(別紙参照)**

全試合**対戦表の左側**を仮ホームチームとし本部席から向かって左側のベンチに入る。

試合での**ホームチーム・ビジターチームは、試合開始前のパックスにて決定する。**

正規 20分×3ピリオド **練習7分** 休憩 約12分

Division II～V 全チーム1回戦総当たりのリーグ戦を行う。

全試合**対戦表の左側**を仮ホームチームとし本部席から向かって左側のベンチに入る。

試合での**ホームチーム・ビジターチームは、試合開始前のパックスにて決定する。**

正規 15分×3ピリオド **練習7分** 休憩 1, 2ピリオド間5分 2, 3ピリオド間約12分

※ 第3ピリオドを終了し同点の場合、「引き分け」とする。ただし、**Division I ABのファイナルリーグおよび、入替戦**においては、両チーム5名ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト（以下「PSS」という）により勝敗を決定する。

**(この際、ローカルルールとして、リンク両サイドを使用し、PSS開始前の製氷は実施しない)**

さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。

※ランニングタイムを全てのDivisionにおいて以下の通り適用する。

**7点差以上の**得点差がついた時点で次のフェイスオフ以降のゲームタイムはランニングタイムとする。

- ① 点差が縮まった場合でも継続する。
- ② 次の場合は時計を止める。
  - a) 得点時。(レフェリーが本部席オフィシャルに得点を報告した後、直ちにスタートさせる)
  - b) 反則発生時。(次のフェイスオフでパックをドロップ後、直ちにスタートさせる)
  - c) タイムアウト。「(タイムアウト)」のアナウンスで停止し、ブザー後、直ちにスタートさせる)
- ③ 反則時間終了時にプレイが止まっていた場合、その選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。

※ 順位決定は次の通りとする

- ・ **全てのDivisionにおいて**、勝ち「3」、引き分け「1」の勝ち点を与える。
- ・ **ファイナルリーグにおいては**、PSS勝「2」、PSS負け「1」の勝ち点を与える。
  - ① 勝点の多い順 **(以下すべて、Division 1 ファーストリーグは含まない)**
  - ② レギュラータイムの勝数の多い順
  - ③ 当該校の対戦成績での勝ち点の大なるもの
  - ④ 当該校同士の試合での得点の大なるもの
  - ⑤ 当該校同士の試合での得失点差の大なるもの
  - ⑥ 全試合の得点の大なるもの
  - ⑦ 全試合の得失点差の大なるもの
  - ⑧ **当該チームによる抽選にて決定する**

☆ **Division II～Vの1位チームとDivision I～IVの最下位チームによる入替戦を実施する。**

☆ **リンク事情や新型コロナウイルス感染症などにより、Division I ABによるファイナルリーグおよび入替戦が実施出来ない場合、Division I Bおよび各ディビジョンの1位は自動昇格する。Division I Aの最下位および各ディビジョンの最下位は自動降格する。ただし、順位決定において、一方のチームが著しく不利益となる場合には、この限りではない。**

## 2. 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則及び公益財団法人日本アイスホッケー連盟の定めるルールによるものとする。

特に、以下の規則に関しては、怪我防止のため徹底する。

1) プレーヤーはバイザーまたはフルフェイス・マスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。

顎紐と顎の間のゆとりは指1本分のみとする。バイザーは鼻が全て覆われるものなければならない。

プレーヤーは試合前の練習中、ベンチ内、ペナルティボックス内にいるときも、ヘルメットを正しく着用していなければならない。

2) グローブ・ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニホームはパンツから必ず出すこと。できる限りタイダウンストラップで密着させなければならない。(タイダウンストラップについては、今大会猶予期間としますが、何度も注意された場合には、ミスコンとなることをご承知おきください)

試合中において、ベンチから氷上に出る際、ユニホームがパンツから出ているか選手スタッフ間で確認すること。

3) ストッキング上のテープは透明がよい。ストッキングのデザインと違う色のテープにより、色をまたいでテープを巻く場合(クロスさせる等)は、透明のテープのみ使用できる。ベルクロタイプのバンドも同様とする。

4) 2003年1月1日以降に生まれた選手は、ネックガード・イヤーガードの着用義務があります。これに該当する選手は、オールメンバー表のチェック欄に記入して提出すること。

## 3. 補助規則

1) 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、不戦敗(スコアは0対15)とする。

2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。(スタッフはベンチ入りできない)

3) チームのすべてのプレーヤーは、同じ上着、パンツ、ストッキング、ヘルメットを着用しなければならない。

4) プレーヤーはマウスガードを着用しなければならない。

5) 選手の怪我防止の観点から、プレーヤーの用具やユニホームが正しく着用されているかを確認するため、以下の手順を定める。

① 整列時、正しく着用されていないプレーヤーには、直ちに改善することをレフェリーが指示し、チームに警告を与える。改善されなければ当該選手は試合に参加できない。

② 試合開始後、正しく着用していないプレーヤーに対してミスコンダクト・ペナルティを科す。

尚、これはレフェリーの判断によりペナルティを科すものであり、チームからのアピールは一切受け付けない。

6) 練習中については、スーパーバイザーがヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用するよう監督し是正させる。

7) 試合の際に役員(監督・コーチ等)のうち1名は必ずベンチ入りする(IDを着用しなければベンチ入りできない)

8) ベンチには、GK2名・プレーヤー20名の計22名、役員6名まで入れる。

尚、外国籍を有する選手は3名以内とする。

9) タイムアウトは全てのDivisionの全試合で、各チーム各1回使用できる。

10) **オールメンバー表・オフィシャル担当表は当連盟所定の用紙に記載し試合当日のリンク入場時に提出すること。**

11) 試合当日(試合開始時)試合を遂行するのに必要な最低人数(GK1名とスケーター5名)に満たないチームは、その試合を棄権したものとみなし、不戦敗(スコアは0対15)とする。

**新型コロナウイルス感染症の影響による辞退の際も原則として同様に扱う。但し、順位決定において、著しく不利益となるケースが発生した場合には、この限りではない。(例：総得失点の計算は辞退チームを除外するなど)**

12) ホーム・ビジター制度は全てのDivisionの全試合において適用する。

13) スティック及び用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回ずつ要求できる。

14) 第1・3・5試合において、練習後・ピリオド終了時・試合終了後など、両チームが同一通路を使用して控室に戻る際、出口に近いベンチのチームから先に氷上より退場すること。この際、レフェリーの指示に従い、両チームが同時にならないようにすること。スタッフによるベンチと控室の移動は、次の試合のチーム控室となるリンクサイドは通行しない

こと。第2・4・6試合チームは控室を使用出来ない。指定場所（リンクサイド）を代替の控室とする。

ただし、リンク事情により、偶数試合と奇数試合の控室が入れ替わることがある。

#### 15) ベンチドアマンの取り扱い

① 当日の試合に出場しないが、選手登録をされている学生2名以内をベンチドアマンとして置くことができる。

この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載すること。（ただし、役員6名には含まれない）

② ベンチドアマンは、危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。

試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しく装備していない場合、その試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

16) 試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止する。コーチングの目的にのみ電子機器の使用を認める。

17) ベンチ入りする学生スタッフ（マネージャー・トレーナー）は危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。レフェリーが規定に違反している学生を発見した場合、該当者をベンチから退場させる。ただし、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

18) 第2ピリオド・第3ピリオド開始時は、ファーストセットのみ、氷上に上がる。

19) PSSの先攻・後攻の選択権は、パックスにおいて決定する。

20) 申請した登録と試合当日の背番号に変更がある際は、オールメンバー表の提出時、競技役員に報告すること。

21) ユニホームの名前を隠す際は、同系色の布を縫い付けること。（テープ使用は不可）

22) ユニホームは同系色同士の対戦とならないよう、事前に対戦チーム間で話し合いを行うこと。

（基本は、ホームが色系をビジターが白系のユニホームを着用）

#### 4. 試合中の負傷

試合中に選手が負傷した場合は、当連盟所定の用紙により、事務局宛てにメール送信すること。

尚、試合中に起こった傷害に関して応急処置は行うが、その後は各チーム及び個人の責任とする。

観客も同様とする。

#### 5. 注意事項

事前の連絡もなく、代表者会議、オフィシャルクリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番を遅刻、欠席、棄権した場合、また連盟規約違反をした場合は、学生事業委員会ならびに審議委員会にて協議し処分を科す。

各チーム大会初戦の入場時に代表者が「同意書」を提出すること。

#### 競技要項（新型コロナウイルス感染症による追記）

1. 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲームミスコンダクト・ペナルティを科す。

一旦口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

2. パックスは、ソーシャルディスタンスを保ち行うこと。

3. レフェリーその他競技役員との握手は一切行わない。選手同士も禁止する。

4. ベンチ内において、スタッフ（部長・監督・コーチ・トレーナー）は、飛沫飛散防止のため不織布マスクを着用すること。

また補助規則15項及び17項に該当する者は、フルフェイスの中に飛沫飛散防止のための不織布マスクを着用すること。

5. ウォーターボトル、タオルは共有しないこと。

6. ディビジョン2以下において、製氷のないインターミッションの際は、ベンチ内で待機すること。

<以下の項目は、JiHFから発出された通達に準ずる（要約文として記載する）>

6. ペナルティアテンダントについて・・・得点時は、選手自らドアの開閉をすること。

7. 試合中のベンチ内選手について・・・交代選手以外は座っていること。（交代選手は交代するときまで座っていること）

8. ベンチ内にて、選手及びスタッフは大声を出さないこと。

上記について、1 回目は警告、2 回目はミスコンダクト・ペナルティを科す。

9. スタッフがマスクを外し大声を出した場合、即座にベンチマイナー・ペナルティを科す。

10. 試合中断時のバックの扱いについて・・・中断時にバックに触れないこと。GK はキャッチしたらリンク上に置くこと。

11.ペナルティボックス内は、一切の私語を禁止する。(自チームへの連絡や応援を含む)

その他

・施設に入る際は、手指消毒を実施し検温を受けること。

・施設内において、氷上・ベンチ内以外は常に不織布マスクを着用すること。

(ピリオド間のトイレ移動・室内外でのアップにおいても着用すること)

・指定エリア (着替え場所・トイレ・アップ場所) 以外への立ち入りを禁止する。

・試合終了後、ベンチ内および控室の清掃を行うこと。(大会期間中以外でも習慣化すること)

・施設内において、選手の水分栄養補給以外は基本的に飲食を禁止する。

・ゴミはチーム各位で必ず持ち帰ること。(施設内にゴミ箱を使用しないこと)

・新型コロナ対策として導入した「感染防止ガイドライン」「競技要項」「同意書」等に違反して試合を行ったことが判明した場合、学生事業委員会ならびに審議委員会による協議の上、懲戒処分を科す。

**\* 今大会は、ピリオド間の移動など全てにおいて試合進行のスピードアップにご協力をお願い致します。**

**\* 新型コロナ対策等の社会情勢により大会期間中であっても内容変更の場合があることをご承知おきください。**

<緊急連絡先>

第1 連絡先 大会運営委員長 横川 (学生事業委員長) 携帯：090-8507-9867

第2 連絡先 運営副委員長 松本 (専務理事) 携帯：090-3345-2412